

## 平成25年度 事業満足度調査 アンケートご協力をお願い

古賀市では、健全で効率的な行財政運営を行うために、市が行っている事業の必要性、効率性、成果を評価・検証し、今後の事業展開の改善を図っていく「行政評価」に取り組んでいます。

この行政評価を行うにあたり、市が行った事業に対して、市民の皆さまがどれだけ満足できたかという「満足度」の視点も重要な評価資料になります。

市は、この皆さまの「満足度」も含めて事業を評価・検証し、今後の事業展開に改善を加えながら、さらに「満足度」の高い市政運営を目指していきたいと考えています。

そこで、平成24年度に市が行った事業について、市民の皆さまの「満足度」を把握するために、「事業満足度調査」を実施します。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、回答は無記名で、調査にお答えいただいた内容はすべて統計的に処理されます。あなたの回答がほかの人に知られることはありませんので、ありのままをお答えください。

平成25年6月  
古賀市長 竹下 司津男

【記入にあたって気をつけていただきたいこと】	
調査対象者	この調査は、平成25年3月31日現在の住民基本台帳をもとに、18歳以上の市民のうち4,000人を対象に無作為抽出してお配りしています。回答は、無作為抽出された本人(封筒あて名の方)が記入してください。また、事情により、本人の記入が難しい場合は、本人の意向を聞いて、家族の方が代理で記入していただいても構いません。
記入方法	記入は、鉛筆、ボールペンなどをご使用ください。
提出方法	記入後の調査表は、同封の返信用封筒に入れて、6月30日(日)までに郵便ポストに投函してください。 ※差出人の名前を書く必要はありません。

(このアンケート調査に関するお問い合わせ)

古賀市役所 人事課 行政管理係  
電話 942-1121(直通)  
FAX 942-3758  
E-mail g-kanri@city.koga.fukuoka.jp

調査はこのページからです。

問1 あなたの性別を教えてください。(該当する番号に○印を付けてください。)

1. 男性      2. 女性

問2 あなたの現在の年齢を教えてください。(該当する番号に○印を付けてください。)

1. 10代・20代      2. 30代      3. 40代      4. 50代  
5. 60代      6. 70代以上

問3 あなたの居住地区を教えてください。(該当する番号に○印をつけてください。)

ア行

1. 青柳区      2. 今在家区      3. 小竹区      4. 小山田区

カ行

5. 花鶴丘1丁目区      6. 花鶴丘2丁目1区      7. 花鶴丘2丁目2区  
8. 花鶴丘2丁目3区      9. 花鶴丘3丁目区      10. 北花見区  
11. 久保区      12. 久保西区      13. 古賀北区  
14. 古賀団地区      15. 古賀東区      16. 古賀南区  
17. 薦野区

サ行

18. さや団地区      19. 鹿部区      20. 庄北区  
21. 庄南区      22. 新原区

タ行

23. 高田区      24. 谷山区      25. 千鳥北区  
26. 千鳥タウンコート区      27. 千鳥東区      28. 千鳥南区  
29. 中央区

ナ行

30. 中川区      31. 米多比区

ハ行

32. 花見東1区      33. 花見東2区      34. 花見南区  
35. 日吉台区      36. 病院区

マ行

37. 舞の里1区      38. 舞の里2区      39. 舞の里3区  
40. 舞の里4区      41. 舞の里5区      42. 町川原1区  
43. 町川原2区      44. 筵内区

ヤ行

45. 薬王寺区

# 調査票の構成と記入のしかた

調査票は、以下の内容で構成されています。  
質問の見方と記入方法をご説明します。

## 1. 学校給食地産地消促進事業

### ■目的

地元農産物の消費拡大(①)と学校給食用の農作物を作付する農家への補助を継続します。

### ■事業内容

学校給食に使用する農産物(②)の産地産地消を推進している農家に対し、作付面積(②)に合わせた財政的補助を支援することにより地産地消を推進しています。

### ■事業に使ったお金

総事業費 70万円(③)  
(事業費 15万円(③) 55万円)  
市民一人あたり(③) 1,400円

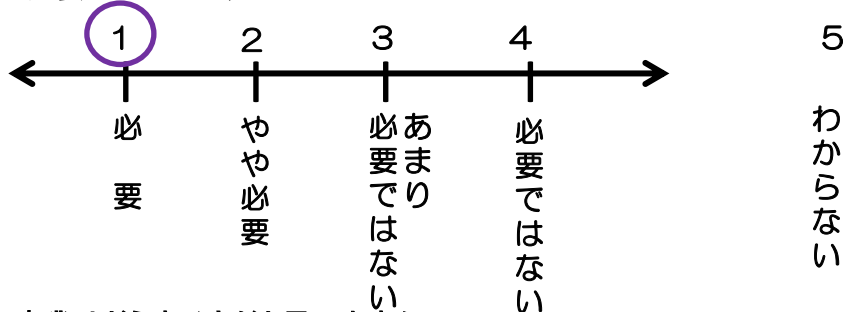
### ■参考情報

作付面積 : 2,800㎡(④)  
作付作物 : 玉ねぎ、じゃがいも  
対象農家 : 1戸

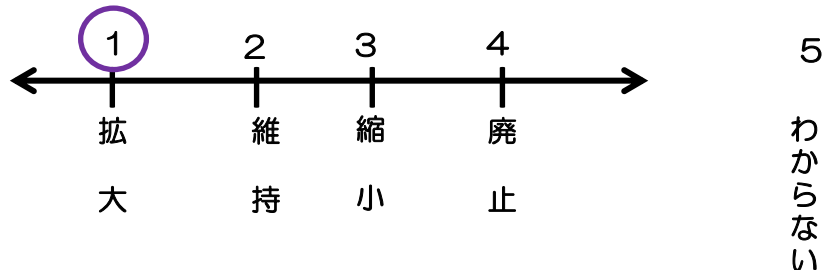
### 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆

①事業の目的を説明しています。

②事業の内容を説明しています。

③事業に使ったお金の金額を示しています。

※「総事業費」は、平成24年度においてこの事業に使った市のお金(人件費を含んだ決算見込み額)を、万円単位で四捨五入しています。

事業によっては、市のお金に国や県からの補助金や交付金、また使用料等の受益者負担金を加えて実施したものもあります。この場合、国や県の補助金や交付金、また使用料等の受益者負担金を含んだ金額を「(国・県の補助金等を含めると〇〇万円)」と示しています。

「人件費」は、この事業に携わった職員の人件費を算定し示しています。

「市民一人あたりの負担額」は、「市が使ったお金」を古賀市の人口58,941人(平成25年3月末現在)で除した金額で、小数点以下を四捨五入しています。

④事業の成果などの参考情報を記載しています。

⑤あなたのお考えに近い番号に○をつけてください。また事業に関して、ご意見、ご提案がありましたらご記入ください。

# 1. 学校給食地産地消促進事業

## ■目的

地元農産物の消費拡大のため、学校給食用の農作物を作付する農家への補助を継続します。

## ■事業内容

学校給食に使用する農作物の作付けを行っている農家に対し、作付面積に応じて財政的補助を支援することにより地産地消を推進しています。

## ■事業に使ったお金

総事業費 70万円  
 (事業費 15万円 人件費 55万円)  
 市民一人あたりの負担 12円

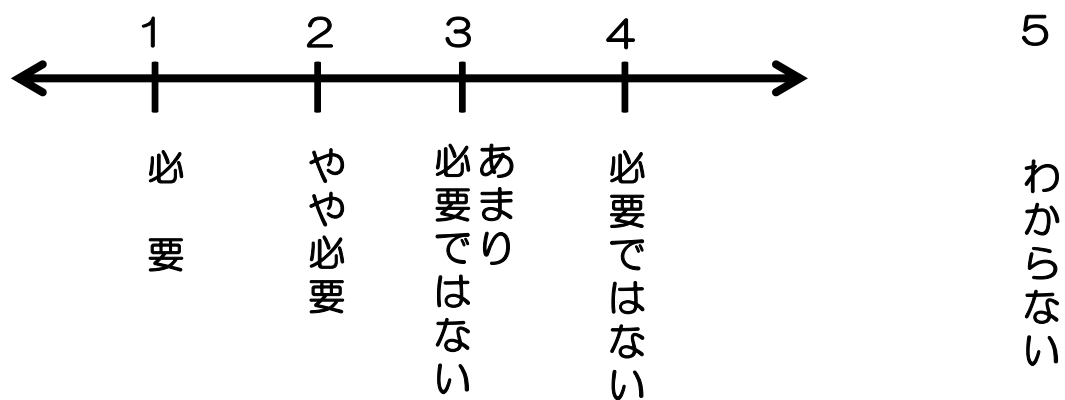
## ■参考情報

作付面積 : 2,800㎡  
 作付作物 : 玉ねぎ、じゃがいも  
 さつまいも  
 対象農家 : 1戸

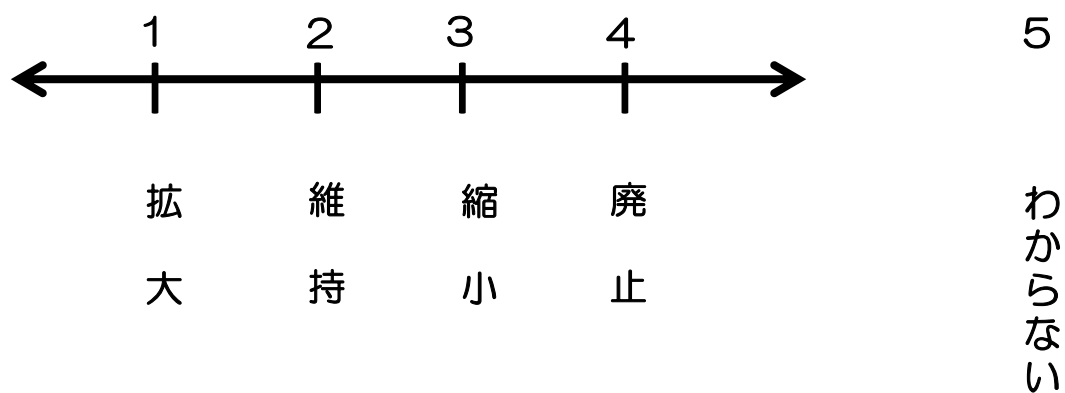
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆

## 2. K-1 (古賀の一品) グランプリ 事業

### ■目的

消費者のニーズに沿った、高付加価値農産物の研究や環境に配慮した安全・安心な農産物の生産を拡大するため、「地産地消」による地元農産物の消費拡大をめざします。

### ■事業内容

市内で生産された農産物を原料とし、市内の事業者および農業者自ら商工業者と連携して生産・加工・販売までを一体的に行い、新たな特産品づくりに取り組んでいます。さらに、出場者に対し、開発に伴う経費の財政的支援や販路開拓の支援も行っています。また、開発された特産品を広く周知するため「まつり古賀」会場内において特設会場を設置し、来場者の投票によって入賞作品を決定する「K-1 (古賀の一品) グランプリ」を開催しています。

### ■事業に使ったお金

総事業費 681万円  
(事業費 472万円 人件費 209万円)  
市民一人あたりの負担 116円

### ■参考情報

参加人数：15人

入賞：5人

入賞作品

【グランプリ】

あまっこトマトのタルト

【準グランプリ】

果肉たっぷりシャーベットゼリー

【市長賞】

かすやごはん小松菜コロケツト

【商工会長賞】

古賀の旬みかん餃子

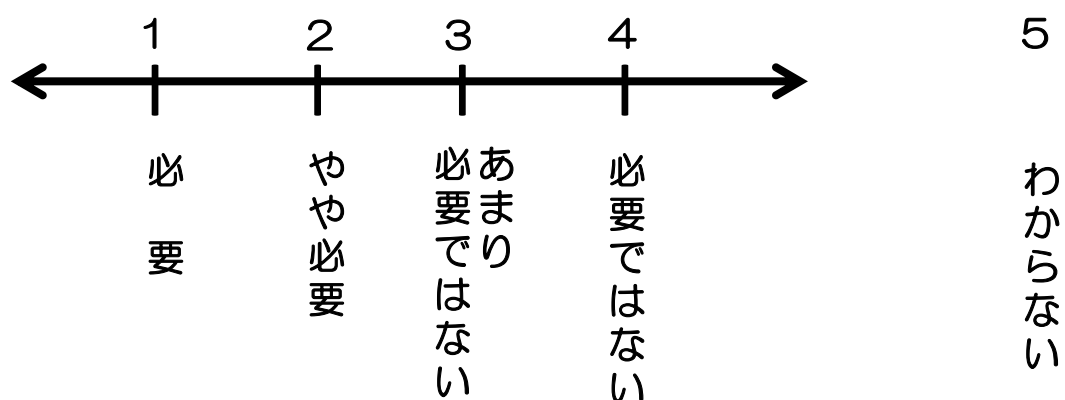
【審査委員会特別賞】

ほんの古賀の一麺

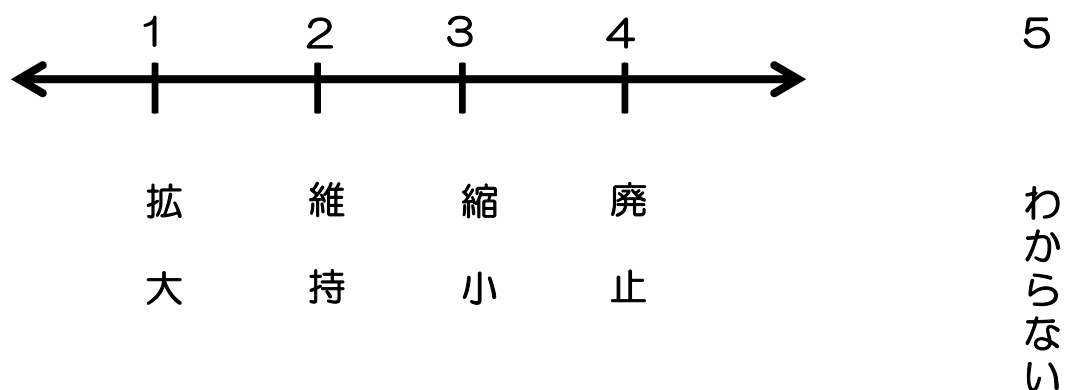
### 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆

# 3. 特産品PR活動支援事業

## ■目的

市の農産品や特産品の紹介や販売促進を行うため、市の特色である「モノづくり力」を活かしながら、市をPRするような取り組みの推進につとめます。

## ■事業内容

市の特産品を広く紹介するために、「食の祭典」や工業団地などでの直売イベントの企画や古賀サービスエリア・観光案内所での販売促進支援に取り組みました。「食の祭典」や工業団地での直売イベントをはじめ、市外へのPR活動を行うことができるようなイベント開催の支援を行いました。

## ■事業に使ったお金

総事業費 992万円  
 (事業費 557万円 人件費 435万円)  
 市民一人あたりの負担 168円

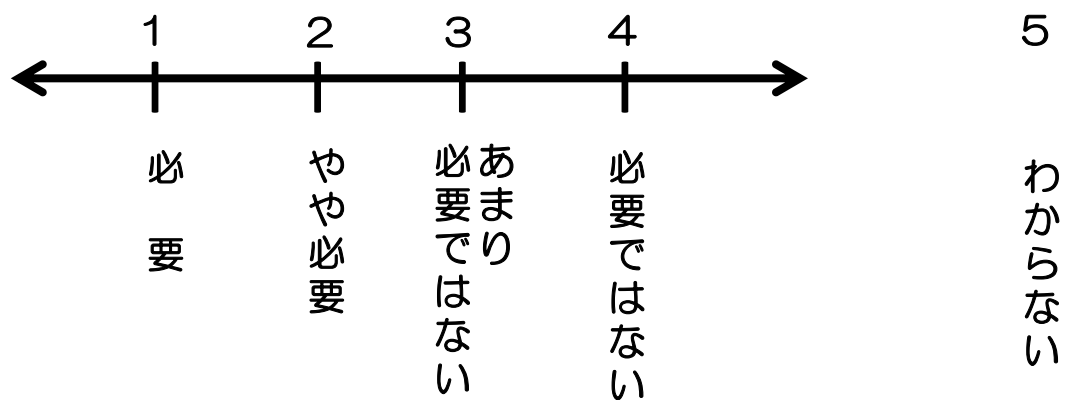
## ■参考情報

来場者数 (延べ数)  
 5/20 食の祭典 20,000人  
 10/31 秋のまつり工場直売会 ※  
 11/18 まつり古賀 42,000人  
 3/23 食の祭典inニビシ 4,000人  
 ※10/31 秋のまつり工場直売会は各工場直売所で開催したため、来場者数の確定が行えませんでした。

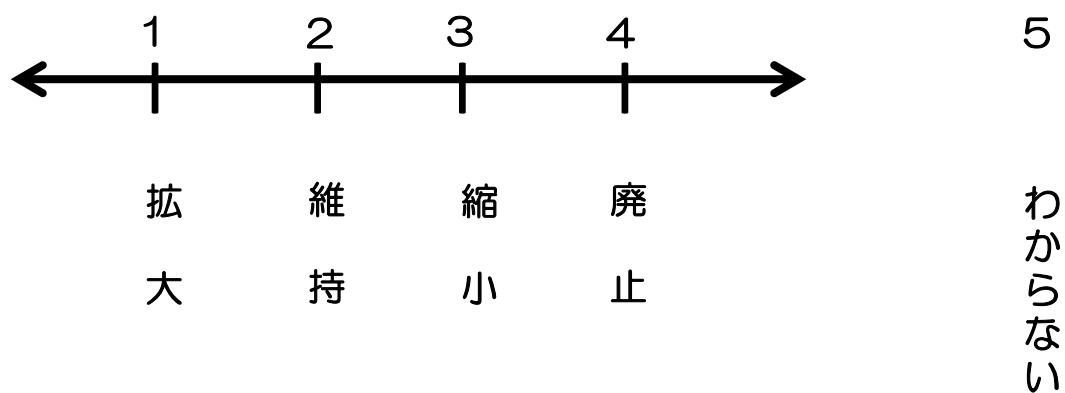
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆



# 4. 小中学生の体験学習事業

## ■目的

学校教育の充実を図るため、地域や企業などの協力を得て、児童生徒の社会性や職業観などを育むキャリア教育の推進につとめます。

## ■事業内容

小学校5年生では「接遇マナー研修」を、中学校2年生では、市内の事業所で5日間の「職業体験学習」を実施しています。児童・生徒が自己の理解を深め、社会的なルールやマナーを身につけることができるようにするとともに、将来の自分の姿や生き方について考える機会を与えるための取り組みを行っています。

## ■事業に使ったお金

### 《接遇マナー研修》

総事業費 26万円  
 (事業費 17万円 人件費 9万円)  
 市民一人あたりの負担 4円

### 《職業体験学習》

総事業費 70万円  
 (事業費 50万円 人件費 20万円)  
 市民一人あたりの負担 12円

## ■参考情報

### 《接遇マナー研修》

研修内容  
 ・挨拶のしかた  
 ・お辞儀のしかた  
 ・立ち方、座り方 他

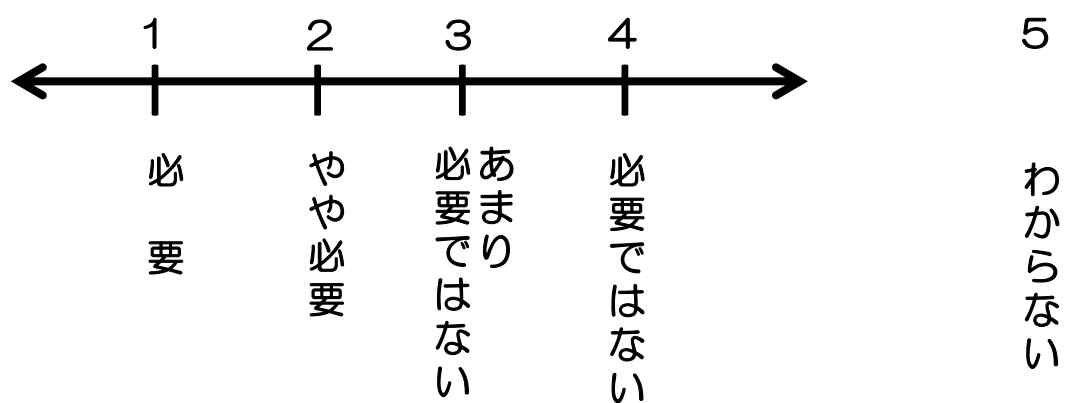
### 《職業体験学習》

協力事業所：市内132事業所  
 主な業種：病院、金融機関、販売業  
 製造業、市役所 他

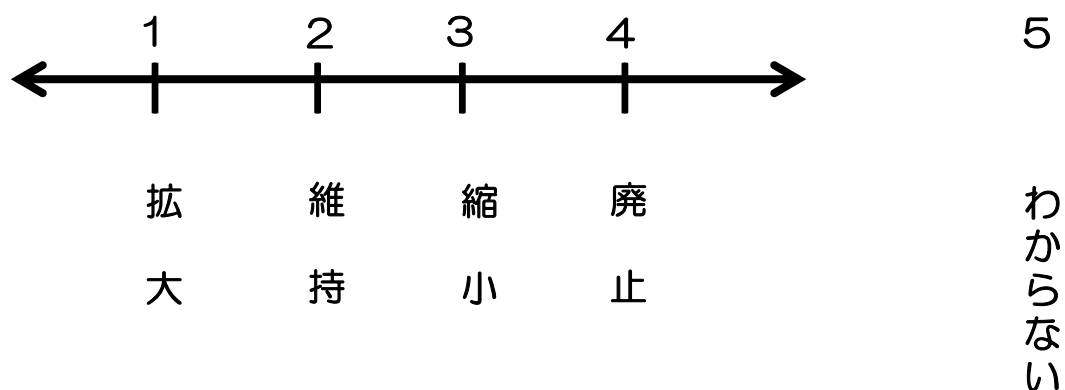
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆

# 5. 乳幼児・子ども医療事業

## ■目的

子育て環境の充実を図るため、医療費の経済的負担を軽減する取り組みを推進しています。

## ■事業内容

市では乳幼児や子どもを対象とし、入院・入院以外にかかる医療費の財政的支援を独自に行っており、子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組んでいます。

## ■事業に使ったお金

総事業費 7,828万円  
 (事業費 6,977万円 人件費 851万円)  
 (国・県の補助金等を含めると 1億5,587万円)  
 市民一人あたりの負担 1,328円

## ■参考情報

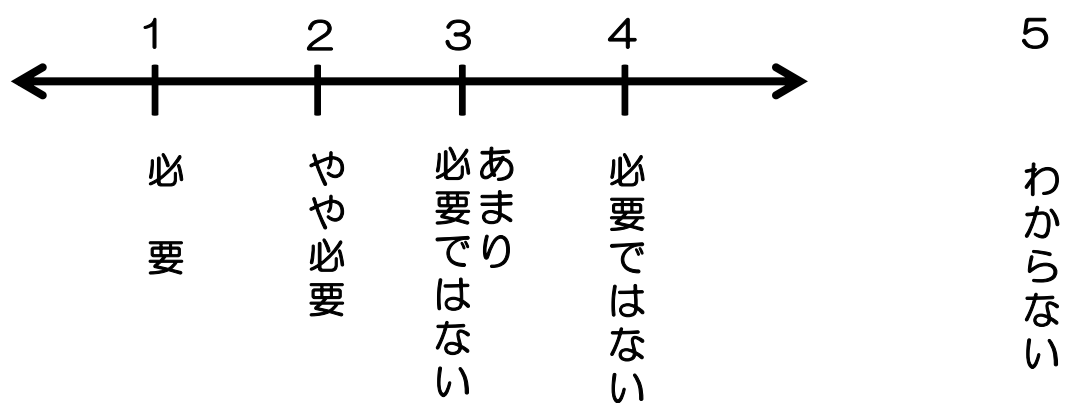
支援内容

- ・自己負担額(1医療機関につき)  
 (乳幼児)
  - 3歳未満 自己負担なし
  - 3歳以上小学校就学前
    - 入院：1日500円  
(月上限額：3,500円)
    - 入院以外：1月600円
- (子ども)
  - 小学校就学後18歳まで
    - 入院1日500円  
(月上限額：10,000円)
    - 入院以外は対象外

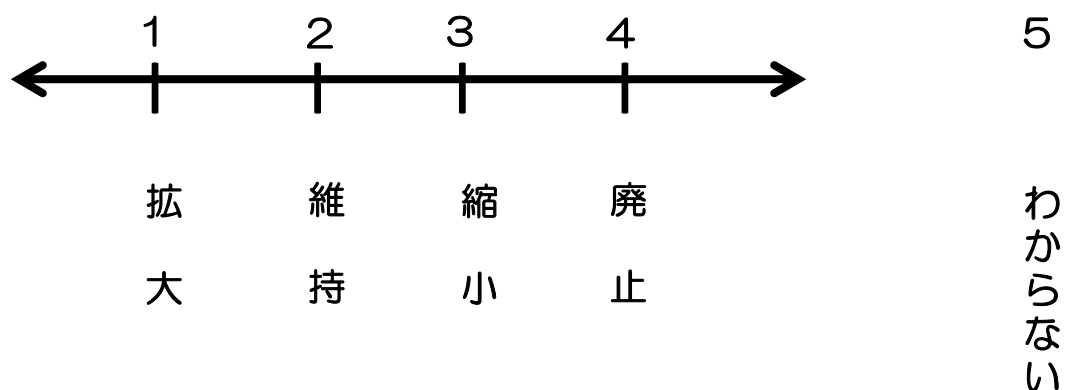
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆



# 6. 古賀市元気な子どもづくり事業

## ■目的

児童の健全育成を図るため、保育環境を整備し、体力や運動能力の向上に取り組みます。

## ■事業内容

市内の私立保育園や私立幼稚園及び届出保育所に対し、遊具の設置費用や遊具の購入費用の財政的支援を行いました。

## ■事業に使ったお金

総事業費 423万円  
(事業費 359万円 人件費 64万円)  
市民一人あたりの負担 72円

## ■参考情報

遊具購入品一例

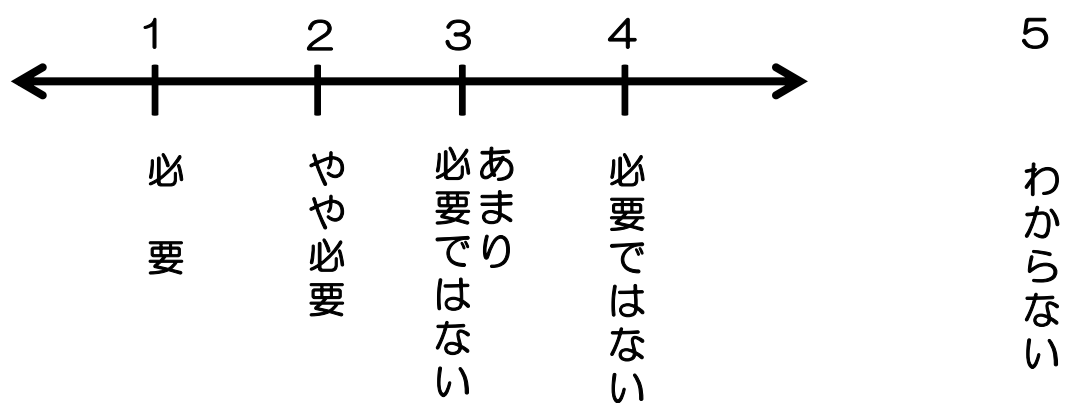
- ・バスケットゴール
- ・ジャングルジム
- ・三輪車
- ・跳び箱
- ・鉄棒
- ・ボール
- ・マット
- ・竹馬

他

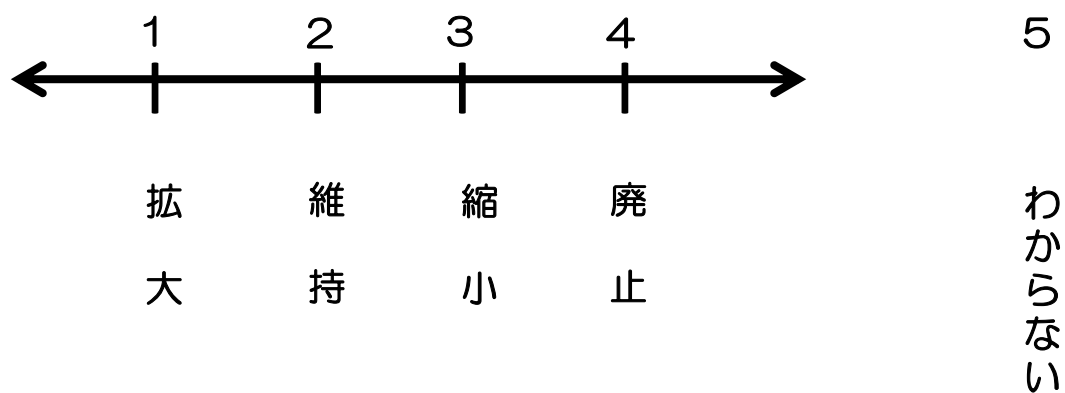
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆



# 8. エネファーム普及促進事業

## ■目的

地球温暖化などの地球環境の問題に対処するため、市民・事業者・市が協働でゴミの減量や地球温暖化防止に取り組み、環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の構築をめざします。

## ■事業内容

エネファーム(家庭用燃料電池システム)設置費用の一部の財政的支援を行っています。

### 【エネファーム】

家庭用燃料電池システム。

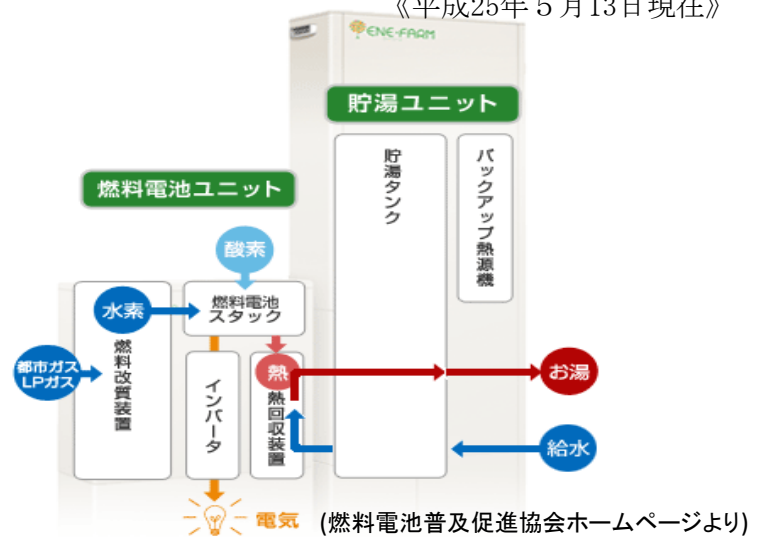
都市ガスやLPガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させ、電気をつくりだします。さらに、発電の際に発生する熱を捨てずにお湯をつくり給湯にも利用できます。発電する場所と使用する場所が同一のため、送電ロスがありません。

## ■事業に使ったお金

総事業費 100万円  
(事業費 50万円 人件費 50万円)  
市民一人あたりの負担 17円

## ■参考情報

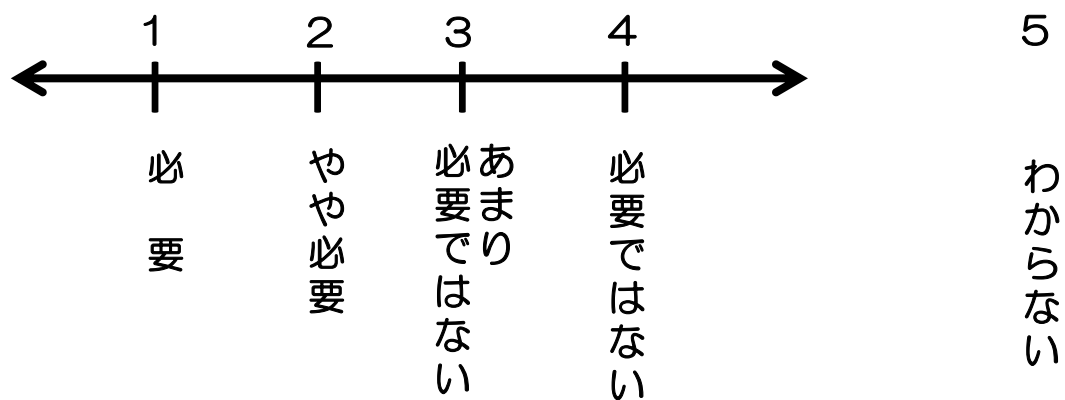
市の補助金額:10万円(金額は一律)  
補助金交付件数:5件(平成24年度実績)  
国の補助金額:45万円(1台あたり上限金額)  
《平成25年5月13日現在》



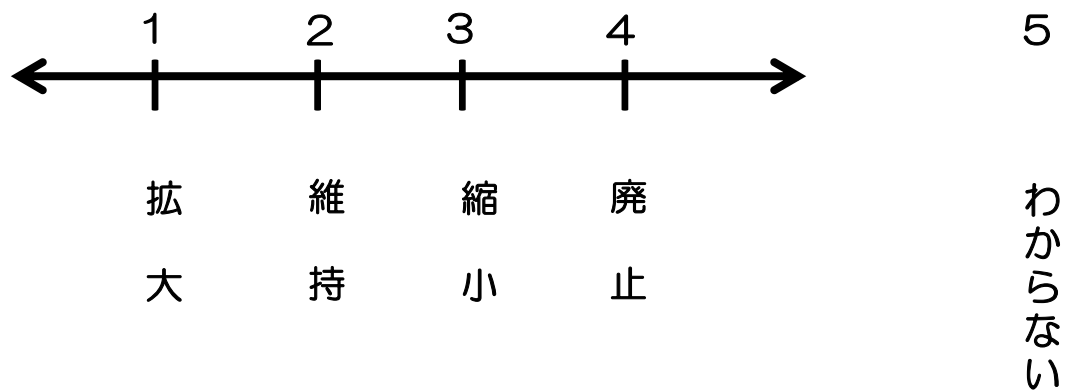
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆



# 10. 人権のまちづくり推進事業

## ■目的

すべての市民の人権を尊重し、市民が共に生き、共に支え合うまちづくりをめざすため、人権教育・啓発の推進に取り組みます。

## ■事業内容

7月の同和問題啓発強調月間中に「同和問題を考える市民の夕べ」を、12月の人権尊重週間中に「いのち輝くまち☆こが2012」を開催しました。

## ■事業に使ったお金

### 《同和問題を考える市民の夕べ》

総事業費 395万円  
 (事業費 73万円 人件費 322万円)  
 市民一人あたりの負担 67円

### 《いのち輝くまち☆こが2012》

総事業費 610万円  
 (事業費 121万円 人件費 489万円)  
 市民一人あたりの負担 103円

## ■参考情報

### 《同和問題を考える市民の夕べ》

#### 【内容】

- ・群読「ひらがなにつき」
- ・講演「命の光を大きく輝かせるために～『私の夜間中学校』教師体験記～」

講師：松崎運之助さん

他

### 《いのち輝くまち☆こが2012》

#### 【内容】

- ・講演「生きながら生まれ変わる」

講師：米良美一さん

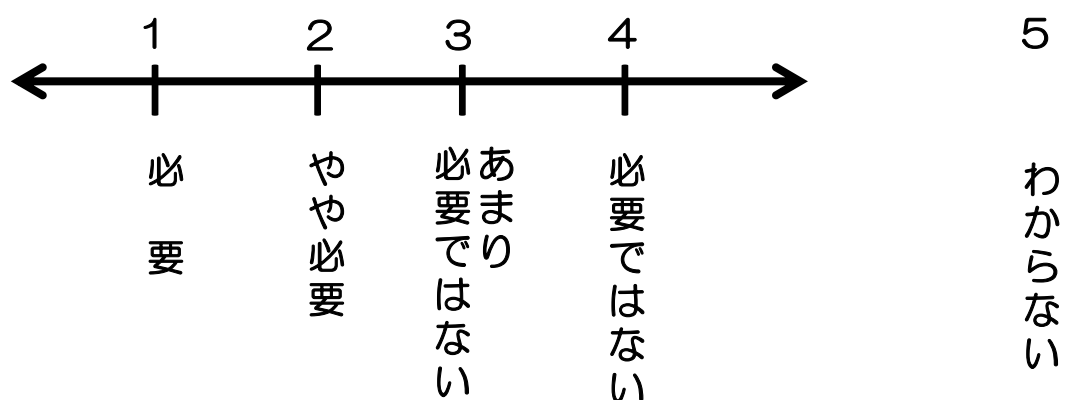
- ・古賀市内の児童生徒の人権尊重作文発表

他

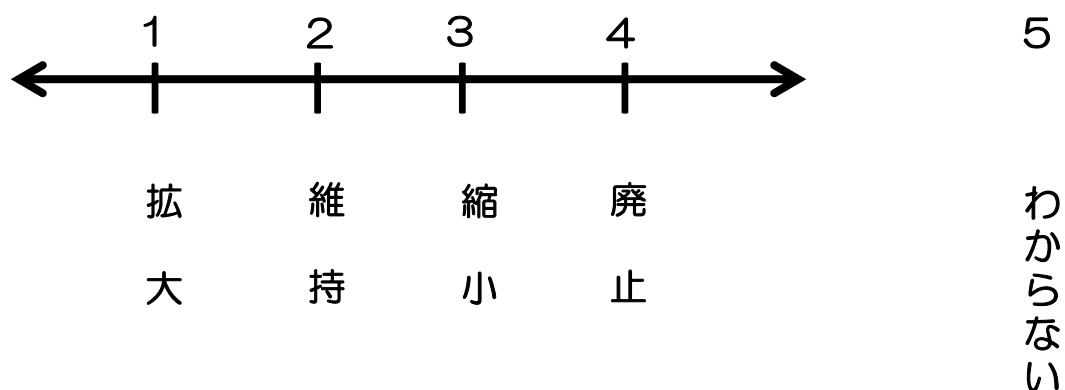
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆

# 11. 市民ウォーキング事業

## ■目的

市民の健康づくりを支援するため、健康づくり活動の推進や健康意識の向上、郷土愛を育むことのできる環境の整備をめざしています。

## ■事業内容

市民の健康づくりや生きがいづくり、生涯スポーツ推進のため、年に2回市民ウォーキング大会を開催しています。市民ウォーキング事業の実施を行うことで、市民一人ひとりが気軽に健康づくりに取り組むことができるよう支援を行っています。

## ■事業に使ったお金

総事業費 606万円  
(事業費 371万円 人件費 235万円)  
市民一人あたりの負担 103円

## ■参考情報

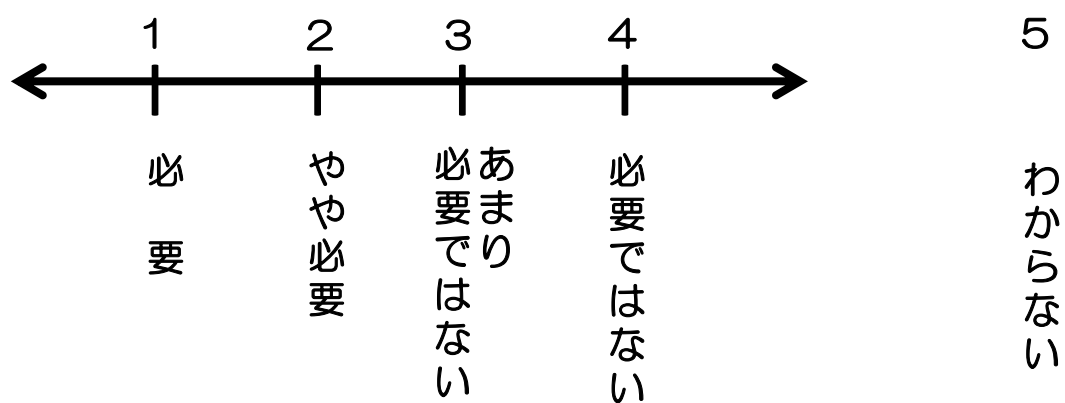
開催時期：10月  
参加人数：183人  
(健康福祉まつりと同時開催)

開催時期：3月  
参加人数：366人  
(メディア関連事業所との共催事業)

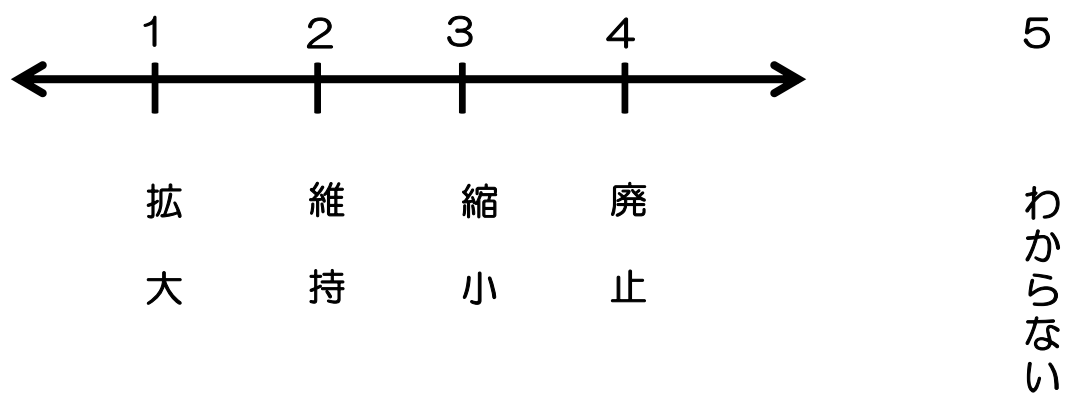
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆

# 12. 任意予防接種事業

## ■目的

各種予防接種の接種率向上のため、「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」「子宮頸がん予防ワクチン」の任意予防接種に対し補助を行うことで、感染症・疾病予防環境の充実をめざします。

## ■事業内容

0歳から4歳までを対象に「ヒブワクチン」および「小児用肺炎球菌ワクチン」の無料接種を、中学1年生から高校1年生までを対象に「子宮頸がん予防ワクチン」の無料接種を実施しました。対象者には個別に通知を行い、予防接種の促進を行いました。

## ■事業に使ったお金

総事業費 3,646万円  
(事業費 3,206万円 人件費 440万円)  
(国・県の補助金等を含めると 6,271万円)  
市民一人あたりの負担 619円

## ■参考情報

延べ接種件数(対象者数)  
・ヒブワクチン 2,214件(2,939人)  
・小児用肺炎球菌 2,364件(2,939人)  
・子宮頸がん 750件(1,472人)  
(※H24年4月～H25年3月末件数)

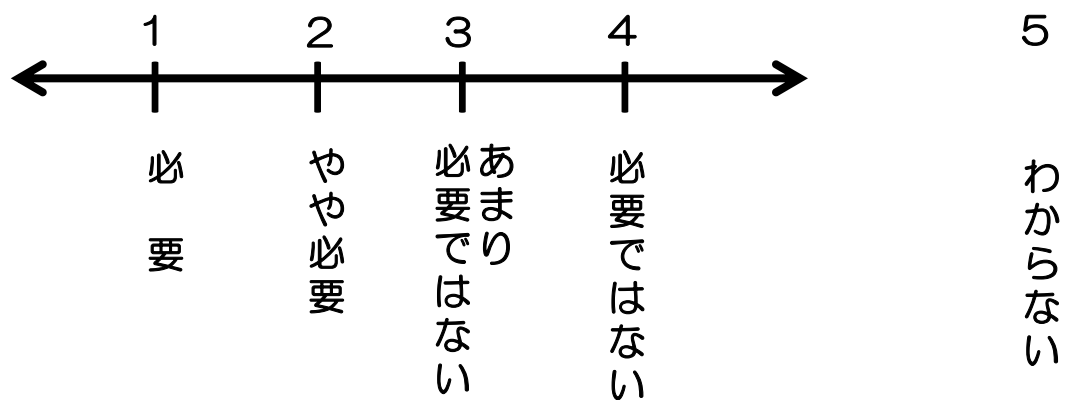
H25年度より、この事業は「任意予防接種」から「定期予防接種」に移行しました。

【定期予防接種】  
予防接種法に基づき、対象接種年齢・回数・接種間隔などが決められています。指定医療機関で無料で受けることができますが、法律で決められた範囲外は自己負担になります。

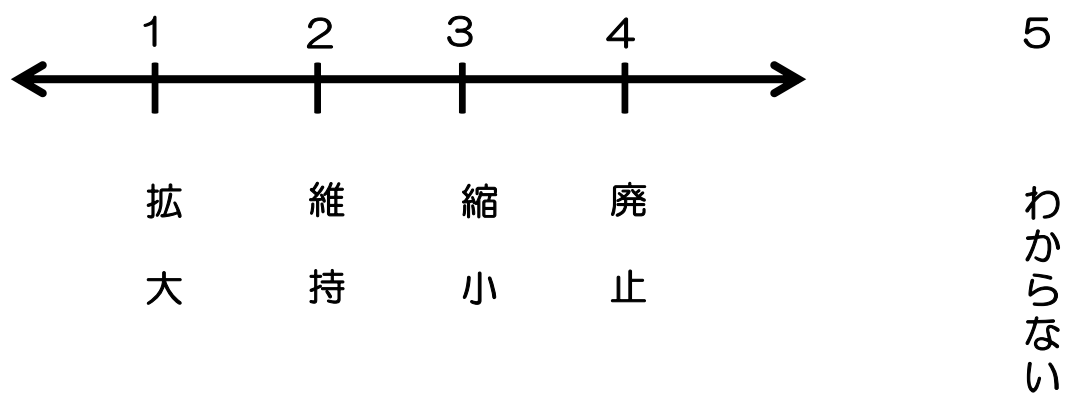
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆



# 1 3. 地域健康づくり介護予防運動推進事業

## ■目的

介護予防の普及啓発を図るため、地域で自主的に介護予防ができる環境の整備に取り組みます。

## ■事業内容

「玄米ニギニギ体操」や「ボール運動」など行う地域の運動教室の推進役となる「健康づくり運動サポーター」の養成や連絡会の実施、地域の健康教室の立ち上げや活動支援などを行っています。また、地域や自宅で「玄米ニギニギ体操」や「ボール運動」が気軽にできるように、CDやDVD、リーフレットを作成し、地域の運動教室参加者や希望者に配布しています。

## ■事業に使ったお金

総事業費 49万円  
 (事業費 18万円 人件費 31万円)  
 (国・県の補助金を含めると 165万円)  
 市民一人あたりの負担 8円

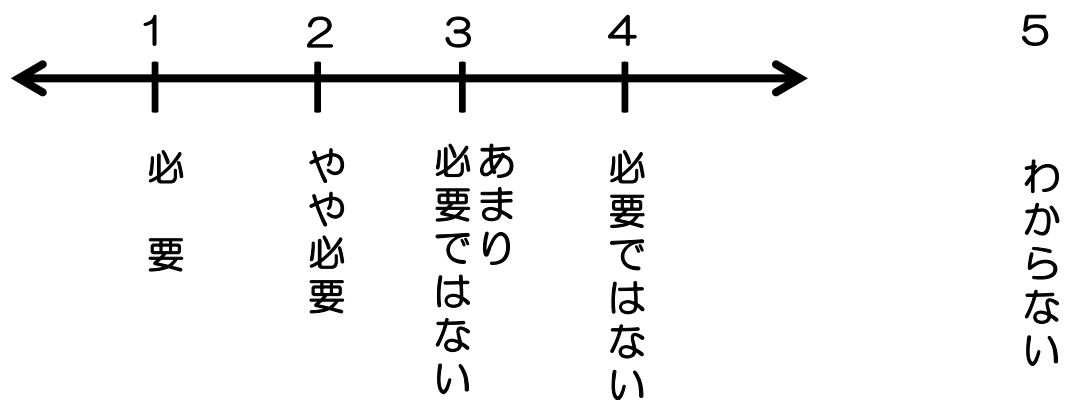
## ■参考情報

サポーター養成講座参加人数 30人  
 《広報こが4月号で受講生募集》  
 サポーター登録人数 73人  
 (H24年度末)  
 サポーター連絡会参加人数 129人  
 (延べ人数)  
 健康教室実施地域数 22行政区  
 (H24年度末)  
 《内、15行政区で市が健康教室支援を実施》

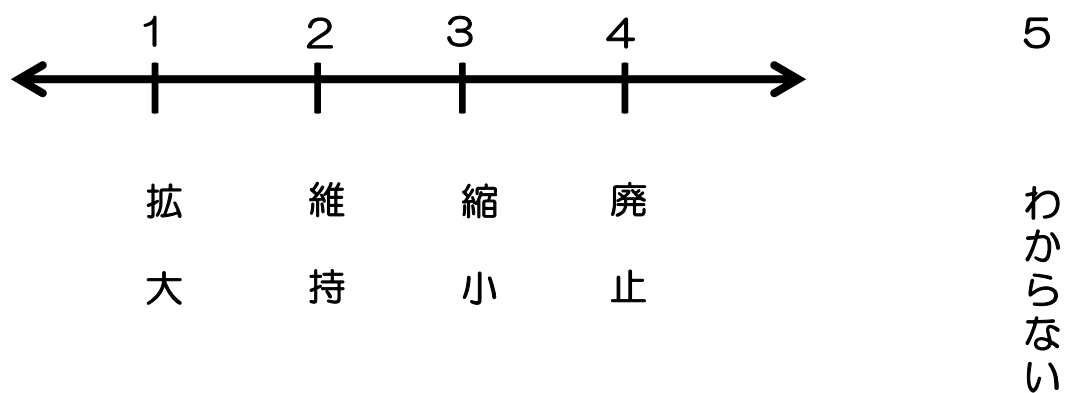
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆

# 14. 文化芸術推進事業（童謡まつり・芸術祭・文化祭）

## ■目的

文化芸術活動の充実を図るため、すべての市民が生活の中に文化的な潤いを感じることで、できる限り住みよいまちづくりをめざしています。

## ■事業内容

すべての市民が気軽に文化芸術を鑑賞・参加・創造することができるよう「童謡まつり」「芸術祭」「文化祭」を開催しています。「童謡まつり」では、児童の独唱コンクールや童謡を愛する市民、市民グループによる発表や鑑賞などを行っています。「芸術祭」「文化祭」では、古賀市文化協会の師範クラスや会員による舞踊の披露、絵画及び陶芸作品などの展示を行い、多くの市民に親しみやすいイベントを開催しています。

## ■事業に使ったお金

総事業費 321万円  
(事業費 300万円 人件費 21万円)  
市民一人あたりの負担 55円

### 事業費内訳

《童謡まつり》  
事業費 150万円  
《芸術祭》  
事業費 75万円  
《文化祭》  
事業費 75万円

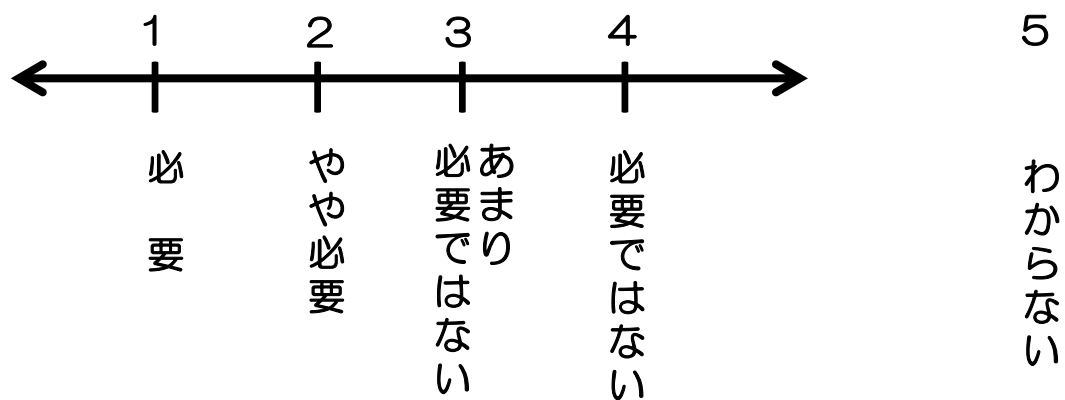
## ■参考情報

参加人数(延べ数)  
・文化祭 2,194人  
・芸術祭 3,905人  
・童謡まつり 4,185人

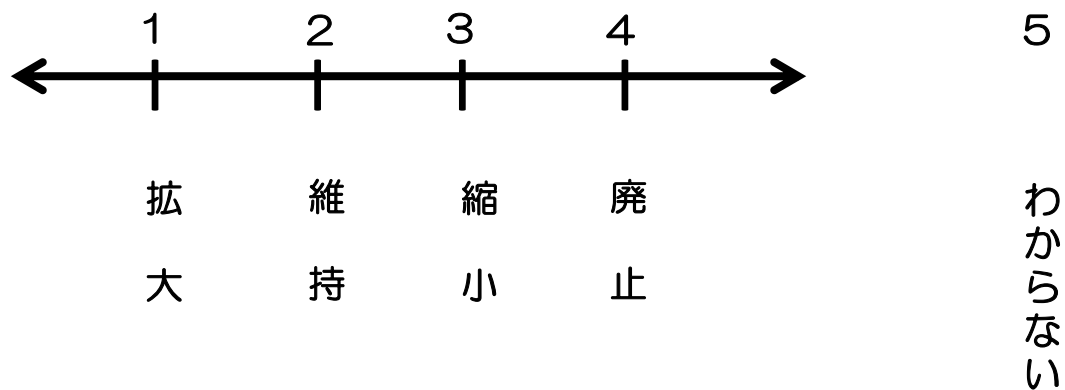
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆

# 15. 子ども体力づくり推進事業

## ■目的

子どもの体力向上を図るため、学校や地域、スポーツ団体など関係機関と連携・協力し、児童・生徒の基礎体力養成に取り組んでいます。

## ■事業内容

全小学校で、運動場の地域開放日の設定及び低・高学年別に「こがっ子元気アップチャレンジ(基礎体力養成運動)」を実施しています。また、「子ども体力向上フォーラム」を開催し、子どもの体力づくりの問題や課題についての講演会も行っています。

## ■事業に使ったお金

総事業費 357万円  
(事業費 131万円 人件費 226万円)  
市民一人あたりの負担 61円

## ■参考情報

こがっ子元気アップチャレンジ参加人数  
(延べ数)

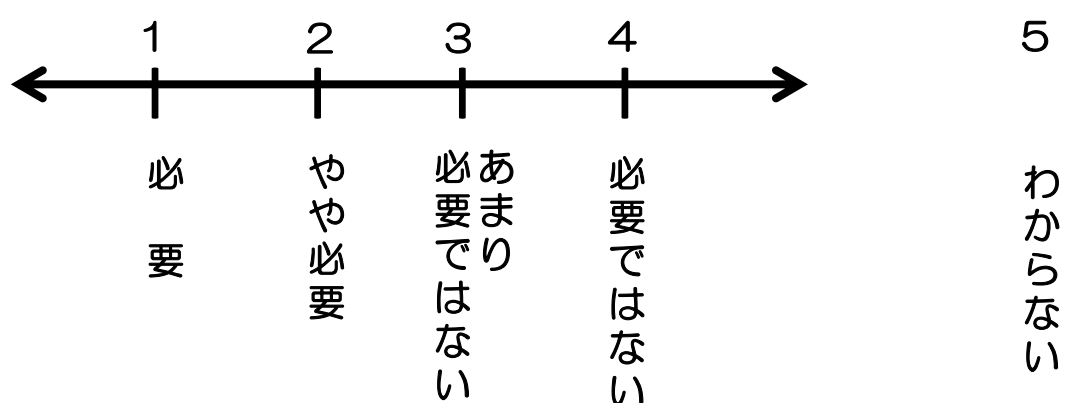
・青柳小学校	88人
・小野小学校	138人
・花鶴小学校	201人
・千鳥小学校	191人
・古賀西小学校	137人
・古賀東小学校	231人
・花見小学校	188人
・舞の里小学校	119人

子ども体力向上フォーラム参加人数  
約200人

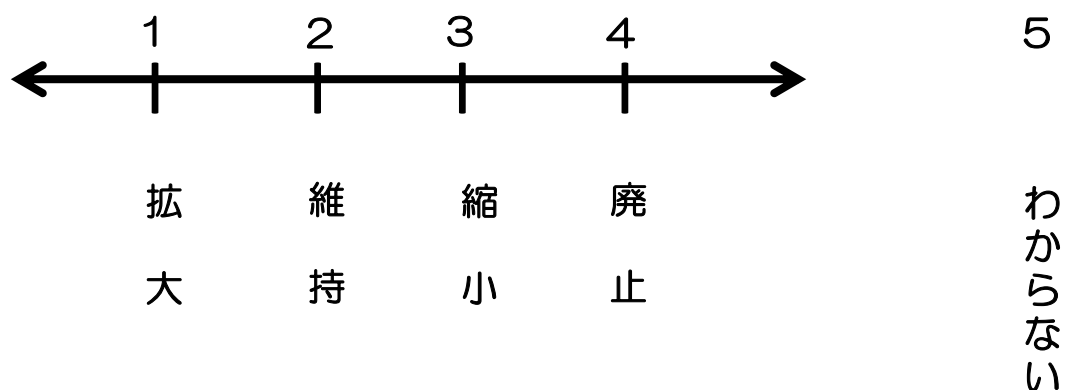
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆

# 16. 高齢者介護支援ボランティア活動支援事業

## ■目的

高齢者の社会参加促進を支援するため、高齢者がボランティア活動を通じて、生きがいづくりや地域貢献を行い、いつまでも元気に暮らせる環境の整備に取り組んでいます。

## ■事業内容

登録をした65歳以上の市民が、市内の介護施設などでボランティア活動を行い、その実績に応じて付与されるポイントを換金することで年間最大5,000円の交付金を受け取ることができる「介護ボランティア制度」を行っています。

### 【介護ボランティア制度】

厚生労働省の認可を受けた有償ボランティア制度。介護支援に関わるボランティア活動を行った高齢者(原則65歳以上)に対し、実績に応じて換金可能なポイントを付与する制度で、介護保険料を実質的に軽減します。

## ■事業に使ったお金

総事業費 14万円  
 (事業費 2万円 人件費 12万円)  
 (国・県の補助金等を含めると 112万円)  
 市民一人あたりの負担 2円

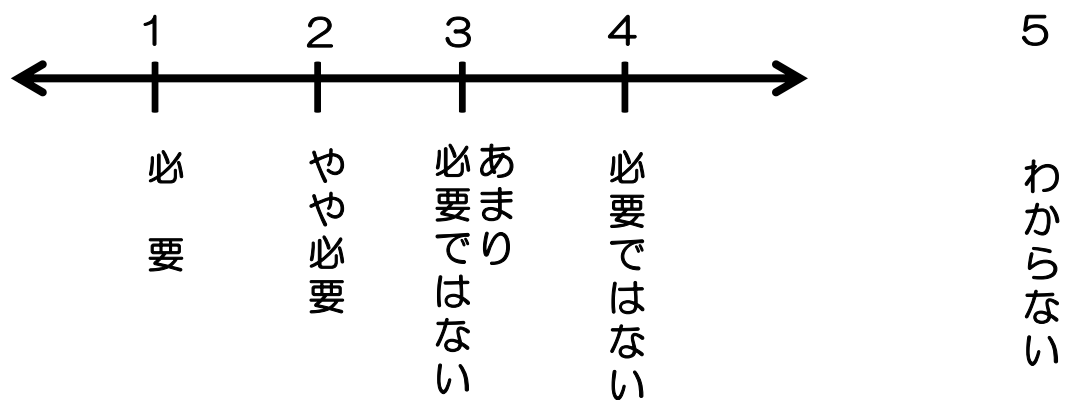
## ■参考情報

登録ボランティア数 14人(H24年度)  
 活動実績 53日間  
 受入先介護保険施設 9施設  
 活動内容  
 ・食堂内での配膳、下膳等の補助  
 ・散歩、外出及び館内移動の補助  
 ・話し相手  
 ・草刈り  
 ・洗濯物の整理  
 実施している主な自治体  
 ・福岡市  
 ・篠栗町 他

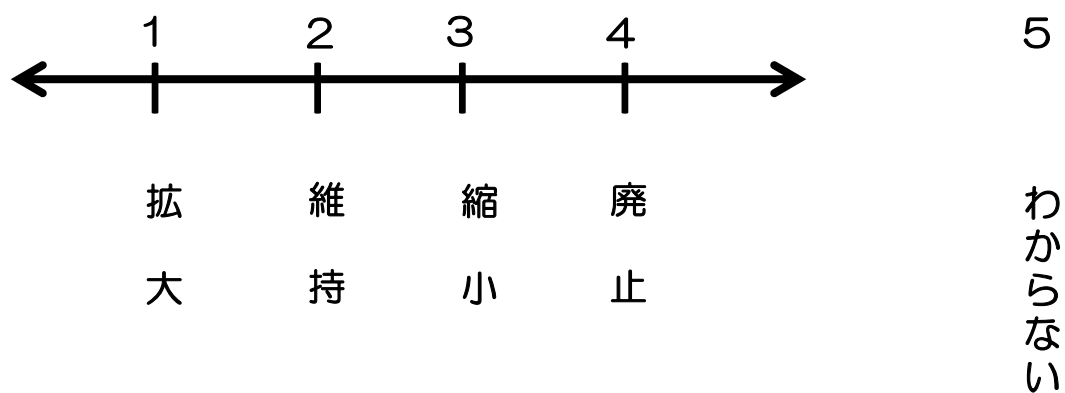
## 回答欄

☆あてはまる番号に○をつけてください。わからない場合は、5に○をつけてください。

・この事業は必要だと思いますか？



・今後この事業はどうすべきだと思いますか？



☆この事業に対するご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください☆

